

行不由徑

忍石



行くに徑（こみち）に由らず。

往來をあるくにも、正々堂々と闊歩し、近道や抜け道をしない。つまり、行動にも公明潔白で、姑息な卑劣さなどとらない。

孔子の門人の子游が魯の武城の長官となった。孔子が「お前の部下にすっかりした人物を得たか」と尋ねると、子游は「澹台滅明（たんだいめつめい）というものがおります。この者は公明潔白で、往來を歩くにも近道や抜け道をせず（行くに徑に由らず）、また、公用でなければ決して上官である私の部屋には参りません」と答えたという。